

特別活動（ホームルーム）指導案（2 学年）

平成 27 年 11 月 13 日（金） 3・4 校時（10:40～12:30） 音楽室 指導者 塩谷 貴彦

1 題材名 「組織における役割分担の重要性」

2 題材観

本題材は、高等学校学習指導要領の特別活動〔ホームルーム活動〕の（3）学業と進路 ア「学ぶことと働くことの意義の理解」オ「望ましい勤労観・職業観の確立」カ「主体的な進路の選択決定と将来設計」にあたるものである。企業の求める能力は業種、職種によって、高度な専門的知識や能力が求められる。しかし、高校生として企業に就職をする際には、社会人として基礎的な力である人間力や基本的な生活習慣が必要となる。本活動は、グループによる作業から役割分担、作業の効率化、チームワークなどの重要性に気付かせ、働くことの意義や自らが果たす役割から将来への目標や進路選択について自主的に考える態度を育成する。また、協調性や積極性などのコミュニケーションの基礎を養うこともねらいとする。

3 研修とのかかわり

本研修では、新入社員研修で体験した PDCA 演習を活用した授業を展開する。実際の企業が行っている研修を生徒に体験させることで、実体験を伴う形で「企業が求める人材」がどのようなものであるかを理解させる。また、研修を通じて感じた「働くことの楽しさ」を生徒に伝えるため、社員の声をインタビューとして紹介する。これらを通じて、自身の将来像を描かせるとともに、企業が求める人材力を高めるために、日々の学校生活でできることを考えさせる。

4 指導方針

- （1）演習による実体験を通して、物事に対して積極的に取り組む姿勢を養い、将来の目標や進路選択に対する意識を高めさせる。
- （2）作業に対する責任感を持ち、他者と協力し業務の効率化を考えさせる。
- （3）生徒が自分の意見を持ち、意見発表をする場面を設定する。

5 評価規準（事前の活動→本時の活動→事後の活動）

評価規準	集団活動や生活への関心・意欲・態度	授業に主体的に取り組むとともに、働くことや働くために必要なことについて関心を持ち、意欲的に学ぶことができる。	
	集団の一員としての思考・判断・実践	集団の一員として、作業や意見交換に取り組む中で人間形成能力を身に付けるとともに、自身の役割に基づいた思考と行動ができる。	
	集団活動や生活についての知識・理解	自身に与えられた役割に責任を持つとともに、役割分担の重要性を理解している。	
時間	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
	知識・理解	思考・判断・実践	
本時の活動	・企業における組織と個人の関わり方を理解する。 ・作業から組織が必要とする能力を学ぶ。	・自ら考え、それを相手に伝える力。 ・課題や改善策をグループで考え、まとめる力。	・PDCA演習 ・個人での振り返り ・グループでの振り返り

6 本時の学習指導

(1) 目標 企業が行っている演習を高校生に体験させることで「企業が求める人材」を理解させる。演習を通して、協調性や責任感、忍耐力を高める。

(2) 準備 【教員】プレゼンテーションソフトによる提示資料、キャリア教育資料
ワークシート
【生徒】筆記用具

(3) 展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価) (ゴシックはキャリア教育とのかかわり)
<導入> 教師の社会体験研修報告	10分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の内容について説明する。 企業研修で得たことを伝え、将来の進路選択について考えさせる。
<展開> 1. PDCA演習のルールについて知る。 — 予想される生徒の反応 — 「ルールは分かったけど、どうやるの」 「難しそうだな」 「何を私たちに伝えたいの」 ・ルールは企業における命令書であり、正確に理解することが重要であることを知る。	10分	<ul style="list-style-type: none"> 説明プリントを配布し、演習の内容とねらいを説明する。 ◇関心をもって、集中し説明を聞いたか。 ◎集中していない生徒に対してルールに関する質問をして確認する。
2. PDCA演習 1回目（計画会議5分、生産10分） — 予想される生徒の反応 — 「全然出来ない」 「何もしていない人がいた」	15分	<ul style="list-style-type: none"> 1回目の演習は、生徒の自主性を見るために教師から指示を出さずに行う。 各班の発表内容から役割分担の重要性を理解させる。
3. 1回目の検討と2回目に向けた改善や役割分担について、リーダーを中心に話し合う。	10分	<ul style="list-style-type: none"> 演習の2回目は、作業の効率化を重視して行うよう指示する。
4. PDCA演習 2回目（計画会議5分、生産10分） — 予想される生徒の反応 — 「役割が決まると動きやすいな」 「〇〇係は活躍した。自分はどうだったかな」	15分	<ul style="list-style-type: none"> 自ら進んで他者や集団へ貢献することで自己肯定感を持たせる。 自分の果たす役割を理解し、他者と協力して作業に取り組む態度を養う。 (人間関係形成能力)
5. 演習の結果から組織（企業）で働く上で重要なこと及び他者の良かった点を考える。（個人活動） — 予想される生徒の反応 — 「役割分担は効果があるな」 「コミュニケーションが大事だな」 「〇〇は器用で、うまく作業していた」 「皆がそれぞれ活躍したから作業が上手くできたんだ」	5分	<ul style="list-style-type: none"> 演習の1回目と2回目の内容を比較し、業務の効率化に結び付いたと思われる自身や他者の取組をワークシートにまとめる。 自身の意見を分かりやすく相手に伝えるため、その考えに至った理由を説明するよう指示する。 良かった点を発表した後で、自身の担当に関する感想も発表する。 ◎考えがまとまらない生徒やグループには、机間支援を行う。

6. グループで発表し合う。	10分	◇話合いに積極的に参加している。 ・活動における役割分担と個々の存在の重要性を理解させる。
7. グループの意見を発表する。	10分	・自分の意見をしっかりと持ち、それを相手に伝えさせる。(人間関係形成能力) ・考えをまとめやすくするため、ワークシートに項目を示し、それぞれに自分の意見を持たせる。
8. 振り返り ・演習の1回目と2回目の内容を比較することで、役割分担の重要性を確認する。	5分	・ワークシートを見ながら、組織における役割分担の重要性を確認させる。 ・組織では、話合いによる意見交換をする等、協調性を持つことの大切さを理解させる。
<まとめ> 本時のまとめ ・組織の活動は、役割分担で成り立っていることを理解する。	10分	・責任感を持ち自己の役割を果たすことは、学校生活の中で大切な力であることを確認し、将来の目標や進路選択の原動力となることを気付かせる。 ・企業で働くために学校生活でできることを考えさせる。